

○ 委員長報告

9月定例会本会議で報告された経済企業委員長報告は、以下のとおりです。

平成27年9月定例会

経済企業委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、地元就職支援事業についてであります。

このことについて一部の委員から、事業の具体的な内容はどうか。また、参加企業の業種については、どのような想定をしているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県外への人口流出に歯止めをかけ、県内の中小企業等の人材確保を図ることが喫緊の課題となっていることから、来年3月下旬に、新規学卒者向けの合同会社説明会を開催するのに併せ、中小企業等の若手社員やUターン就職した社員との交流会及び企業見学会を実施することとしている。

特に、時間的・経済的に負担がかかる県外学生の地元就職を促すため、合同会社説明会等へ参加するための交通費の一部を負担するなど、県内回帰に向けた積極的な取組みを行うこととしている。

また、会社説明会への参加企業については、希望を募ることとしており、ものづくり産業や学生の人気業種、人手不足の業種等も考慮しながら調整するなど、幅広い業種を対象にしたいと考えている旨の答弁がありました。

第2点は、外国人観光客誘客推進事業についてであります。

このことについて一部の委員から、事業の内容はどうか。また、具体的にどのように取り組んでいくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、直行便がない国から本県へ外国人観光客を誘客する際の課題は、東京、大阪、京都をはじめ、人気の北海道や沖縄と比べて本県の認知度は低く、また、本県への訪問ルートも十分に知られていないことだと考えている。

このため、海外に訪日旅行店舗を展開している旅行会社と連携し、当該店舗において本県観光地のPRを展開するとともに、本県へのオプションツアー

の販売を行いたいと考えており、旅行商品企画担当者や店舗スタッフ等を本県に招き、観光地等の魅力を体感できる視察ツアーを実施するなど、店舗スタッフがリアリティーをもって本県の魅力を伝えながら、本県へのツアー販売につながる仕組みづくりに取り組むこととしている旨の答弁がありました。

第3点は、県立病院の役割についてであります。

このことについて一部の委員から、県立病院は、地域の中核的な病院や医師会と連携し、任せる部分は任せ、他の医療機関ができない部分についてしっかり対応して欲しいがどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、県立病院がどういう機能を強化していくべきかということをもとに県立病院機能強化検討委員会で検討しているところである。

その中で、県立病院は急性期医療を担うことで県民の命を守り、症状が落ち着けば、地元の医療機関への転院や、在宅でかかりつけ医に診療していただけるような医療体制がとれるよう、医師会や地元医療機関との役割分担・連携を図っていきたいと考えている旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ さくらひめブランド活用営業推進事業
- ・ 「スゴ技」ブランド力強化事業
- ・ 造血幹細胞移植
- ・ 畑寺発電所
- ・ ドクターヘリ

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願1件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。